

所長の部屋



所長の健康アドバイス

健診結果への対応 (13) 白血球数

[2019年8月]

ヒトの血液の約60%は液体、約40%は細胞成分からできています。後者のほとんどは赤血球で、ごく一部は今回話題の白血球と、次回にお話しする血小板です。白血球数の基準値は3,200-8,500/ μ l程度です。

白血球は主に免疫に関与しており、高値の場合は感染症などの炎症、心筋梗塞や脳出血などの重篤な疾患の初期、白血病などの血液疾患等が疑われます。逆に低値の場合は、ウイルス感染や血液疾患などの可能性があります。

この白血球数は、個人差の大きい検査値です。特に病気がなくても、毎回の検査で高めの人や低めの人が比較的多くいます。自分自身のおおまかな通常範囲を知っておくと便利です。

白血球をさらに分類すると、顆粒球、単球、リンパ球に分かれます。HIV（エイズウイルス）に感染すると、リンパ球の一部であるCD4陽性Tリンパ球が次第に減少します。健診で白血球数が次第に減少し、特にそのうちのリンパ球数が極端に低値の場合は、HIV感染やAIDSの可能性も考える必要があります。

いずれにしても、異常値が出た場合は医療機関を受診しましょう。

乙訓保健所長 時田 和彦

山城南保健所ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/ho-minami/>

「ひとこと健康アドバイス」バックナンバー

H27.11～H28.6 健康寿命を延ばす（メタボリック症候群についての話）

H28.7～H29.3 がんを防ぐ（食道癌、胃癌、大腸癌の話）

H29.4～H29.6 医者のお話（病院救急室の話）

H29.7～H30.5 健康診断結果への対応（健診で異常値が出たときの話）